

(参考情報)

2014年4月28日

新日鐵住金株式会社

公益財団法人新日鐵住金文化財団

新日鐵住金文化財団 東北復興支援音楽活動

「福島県での紀尾井シンフォニエッタ東京による演奏指導等」について

## 1. 経緯

公益財団法人新日鐵住金文化財団のオーケストラである紀尾井シンフォニエッタ東京は、2012年に米国で行われた日米桜寄贈100周年記念行事に招待され、東日本大震災に対する米国からの支援への感謝も込めて、米国東海岸の4都市で公演を行いました。当財団では当該公演によるチケットの売り上げを原資として、東北被災地の音楽教育活動への支援を行うこととしております。

昨年は岩手県釜石市、大槌町、宮城県気仙沼市にて、演奏指導およびミニコンサートを実施いたしました。本年度につきましては、福島県にて、以下の通り弦楽器主体の「紀尾井シンフォニエッタ東京による演奏指導及びミニコンサート」を実施いたしました。

## 2. 福島県郡山市での演奏指導及び模範演奏、合同演奏

日 程 : 2014年4月26日(土) 10時～16時

場 所 : 郡山市立緑ヶ丘中学校(福島県郡山市)

参加者 : 郡山市立緑ヶ丘中学校、第五中学校、第二中学校などの市内8校の小中学校オーケストラ部部員120名強

### ◆郡山市でのトピックス :

・クラシック音楽の入門としてよく使われる『パッヘルベルのカノン』を練習曲に選んで演奏指導した後に、紀尾井シンフォニエッタ東京のメンバーによるモーツァルトやAKB48メドレーなど4曲の模範演奏を行った。最後は、参加者と紀尾井シンフォニエッタ東京のメンバー全員によるカノンの大合奏で盛り上がり、フィナーレを迎えた。

### 【参加者のコメント】

- ・参加した生徒：カノンは初めての曲だったが、最後にこんなに大勢で合同演奏してすごく楽しかった。感動した。クラシック調のAKBのメドレーも嬉しかった。
- ・シンフォニエッタメンバー：公立小中学の部活でこんなにオーケストラが育っていることに本当に驚いた。生徒の皆さんは想像していたよりはるかに上手で、音楽から何かを吸収しようとする真剣な眼差しに圧倒された。これからも音楽を愛する心を大切にしていってほしい。



【写真】郡山市中学生とシンフォニエッタメンバーでの、『パッヘルベルのカノン』合同演奏

### 3. 福島県いわき市でのミニコンサート（2会場で実施）

日 程 : 2014年4月27日（日）10時～17時

場 所 : いわき市四倉チャイルドハウスふくまる・いわき市小名浜市民会館  
（福島県いわき市）

#### ◆いわき市でのトピックス :

・いわき市の中学校はオーケストラ部が少ない一方、吹奏楽部が全国レベル。今回の紀尾井シンフォニエッタ東京のメンバーは弦楽器主体であることから、いわき市での復興支援音楽活動は、四倉地区と小名浜地区の子供たちなどを対象にしたコンサート形式で行った。

#### （1）四倉地区

・四倉チャイルドハウスふくまるは、東日本大震災の孤児・遺児及び児童の交流及び心身の健康を支援する施設で4月26日にオープン。オープニングイベントとして紀尾井シンフォニエッタ東京が30分のミニコンサートを実施した。

・チャイルドハウスでは幼児から小学校低学年の子供たちを中心に約50名の聴衆の中、『AKB48メドレー』や、アンパンマンマーチ・勇気100%などの『キッズソングメドレー』、映画オズの魔法使いの『虹の彼方に』など、なじみのある曲を演奏。一緒に歌い体を動かす子供たちや、涙ぐむ大人の方も。綺麗な音での生演奏に、聴衆の耳と目が釘付けになった30分だった。



【写真】いわき市四倉 チャイルドハウスふくまるでの記念写真

## (2) 小名浜地区

・津波被害の大きかった小名浜地区では、地元の NPO 『小名浜まちづくり市民会議』が主催する『おなはま まちなかコンサート』の一環として、小名浜市民会館にて1時間15分のバラエティーに富んだコンサートを実施。

・地元の小名浜第二中学などの生徒を含む500名強の聴衆が来場した。

・なじみのある曲目の最後を飾ったのは『ボレロ』。繰り返されるリズムとともに会場全体に緊張感が高まっていき、躍動感の絶頂で突然曲が終了すると、拍手喝采となった。さらにアンコールで、小名浜のご当地ソングである美空ひばりの『みだれ髪』が演奏されると涙ぐむ方も見られた。最後はいきものがかりの『ありがとう』が演奏され、会場が一体となったコンサートが終了した。



【写真】小名浜市民会館での紀尾井シンフォニエッタによる弦楽四重奏版ボレロ

お問い合わせ： 新日鐵住金(株) 総務部広報センター 03-6867-5807  
(公財) 新日鐵住金文化財団 03-5276-4500

以 上